

プレスリリース 2019年9月26日

スイスのレーシングドライバー、セバスチャン・ブエミ氏がこのほど maxon ファミリーに加わりました



同氏との今後の協力関係に期待が高まっています

(左より) : ダニエル・フォン・ヴィル (maxon motor ag 社長)、セバスチャン・ブエミ氏、オイゲン・エルミガー (maxon グループ CEO)、ドミニク・シュトックマン (モータ&エンコーダ開発部長)。

ドライブスペシャリスト maxon と、スイスのレーシングドライバー、セバスチャン・ブエミ氏がパートナーとなり、精度、効率、e モビリティに情熱を注いでいきます。

セバスチャン・ブエミ氏はレーシングドライバーとして、精度と効率の何たるかを熟知しています。元F1ドライバーのブエミ氏は、フォーミュラEですでに13勝し、2016年にはドライバーズチャンピオンの栄冠を手にかけています。電力だけで走る電動フォーミュラカーによるこのレースでは、バッテリー切れが起きれば、ゴールを駆け抜けることもできません。このようなレースでトップを走るには、スピードだけでな

く、利用可能なエネルギーをいかに効率よく使うかも問われます。このような観点から、セバスチャン・ブエミ氏はスイスのドライブスペシャリスト、maxon にぴったりのパートナーだと言えるでしょう。maxon の高性能電子モータは火星探査車のみならず、F1 レーシングカーの Ad-Blue (SCR システム専用の尿素水) 噴射システムにも使用されているのです。

maxon は、セバスチャン・ブエミ氏と今後連携・協力していく方針をかため、9月9日に関係を正式に締結しました。このためにオプヴァルデンの maxon 本社を訪れたブエミ氏は、会社を見学し従業員たちと対面しました。ブエミ氏は、クリーンルームや直径 4mm ほどしかない超小型のドライブなどに感心したようです。

スイス出身の両者の協力関係は、11月22日から始まるフォーミュラ E の第6シーズンに挑むブエミ氏のレーシングスーツに輝く maxon のロゴを通して公に披露されます。また、ブエミ氏は maxon のメッセンジャーとしても活躍する予定です。ブエミ氏は、「スイスのハイテク企業と協力関係を結ぶことができたこと、また maxon ファミリーの一員となれたことを誇りに思います」と語りました。これに対し オイゲン・エルミガー maxon CEO も、「セバスチャンとフォーミュラ E ほど maxon にぴったり合うパートナーは他にありません。弊社は近年さらにシステムプロバイダへと移行を遂げており、この意味で e モビリティ市場には特に関心を寄せています」と語り、双方とも協力関係への期待を表しました。

詳細については、maxon メディア室までお問い合わせください。

Tel +41 41 662 43 81 media@maxongroup.com



契約締結における、セバスチャン・ブエミ氏とオイゲン・エルミガーCEO

スイスの高品質ドライブシステム・スペシャリスト

maxon はブラシレス/ブラシ付き DC モータを開発・製造しています。製品ラインナップには、ギアヘッド、エンコーダ、コントローラならびにメカトロニクスシステム一式がずらりと並んでいます。maxon のドライブシステムは、NASA の火星探査車、外科用ハンドツール、ヒューマノイドロボットや高精度の工業機器など厳しい要件が課される作動環境を中心に、ありとあらゆる分野で使用されています。高い能力が求められるこの市場でトップを走り続けるために、maxon はその収益の多くを研究開発費にあてています。現在 maxon では、合計で約 3,000 人の従業員が全世界に広がる 9 か所の生産拠点と 30 カ国以上に拠点をかまえる販売会社で働いています。